

かのもめ

1984.12

北海道難病連
厚岸・浜中支部 発行

(題字は書家の渡辺先生が会のために書かれたものです)

お元氣ですか。暮が近くなり、心せわしい毎日をおすごしのことと思います。寒さがいよいよ本格的となり、痛みがひどくはったりカゼをひいたり、私たちにとってはつらい 却です。健康保険、年金制度の改悪で辛い季節が更に辛く感じられます。

今年はず部の行事が何も出来ないままにすぎましたが、難病連としては七月八日の「横断・相談会(受診者名)」、七月二十九日の「全道集會(9名参加)」をとりくみ、成功させることが出来ました。

新しいなかま。

「腎友会」と「ウイルス肝炎友の会」の入会ではなかまがふえました。どちらも道難病連の加入団体なので支部でも共に歩みたいと思います。腎友会は、人工透析を受けている方、肝炎友の会は秋の肝ガン検診を受けた方たちです。又、人工肝門のなかまが入会しました。

人工肝門の方でさそいましょう。装着されている方は人に知れない事や悩みを持つています。ひとりぼっちでは堪え切れなと思います。みなさんのまわりにそういう人が居られれば是非声をかけ上げて下さい。患者会は、互恵会です。

会員数 (12.25現在)

リウマチ友の会	9名
腎友会	9名
ウイルス肝炎友の会	6名
ベリチエイト病友の会	7名
膠原病	3名
パージイド病	2名
おすなる会	2名
その他の疾患	8名
47名	

・特定疾患通院交差通費について
難病の指定をうけてい各方で、厚岸町以外の病院へ通院している方は、交通費の半額が町から補助されます。医師の診断書や帳が必要で、申請の用紙は役場の「衛生係 立石さん」のところにあります。わからないことは相談して下さい。

新しいなかまを迎えたいので寒い時ですが、集會交流会をしたいと思います。十一月十三日の役員会で話し合い、最終の土曜日が日曜日と考えています。決定したら改めてお知らせします。お元氣で新しい年を迎えて下さい。

